

平成 22 年 2 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社 日本エスコン
 代表者名 代表取締役社長 直 江 啓 文
 (J A S D A Q ・ コード 8892)
 問合せ先 執行役員 古 川 格
 電 話 06-6223-8067

たな卸資産評価損および特別損失の計上ならびに 平成 21 年 12 月期業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、下記のとおりたな卸資産評価損および特別損失を計上いたしましたので、その概要をお知らせいたします。また、平成 21 年 10 月 29 日に公表いたしました平成 21 年 12 月期（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）の業績予想と、本日公表の平成 21 年 12 月期決算の実績に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. たな卸資産評価損の計上について

平成 21 年 11 月 13 日公表の平成 21 年 12 月期第 3 四半期決算短信において、お知らせいたしておりますとおり、たな卸資産を直近の市場環境等を勘案し、評価を行った結果、平成 21 年 12 月期第 3 四半期末時点において、たな卸資産評価損 4,224 百万円を売上原価に計上いたしておりますが、今般の平成 21 年 12 月期の決算にあたり、再度、直近の市場環境等を勘案し、たな卸資産について評価を実施し、たな卸資産評価損 2,031 百万円を追加計上し、平成 21 年 12 月期において、たな卸資産評価損 5,862 百万円を売上原価に計上いたしました。

なお、期中に計上したたな卸資産評価損の一部については、物件の売却により実現しております。

2. 特別損失の計上について

平成 21 年 11 月 13 日公表の平成 21 年 12 月期第 3 四半期決算短信において、お知らせいたしておりますとおり、固定資産を直近の市場環境等を勘案し、評価を行った結果、平成 21 年 12 月期第 3 四半期末時点において、減損損失 2,005 百万円を特別損失に計上いたしておりますが、今般の平成 21 年 12 月期決算にあたり、再度、直近の市場環境等を勘案し、固定資産について評価を行ったところ、減損損失 572 百万円を追加計上することとなったのに加え、当社が保有する投資有価証券についても評価を行った結果、投資有価証券評価損 1,368 百万円についても、特別損失に計上することといたしました。

3. 平成 21 年 12 月期（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）業績予想との差異

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	22,000	△4,500	△5,800	△3,950
今回修正 (B)	27,235	△7,424	△9,159	△8,685
増減額 (B-A)	5,235	△2,924	△3,359	△4,735
増減率 (%)	23.8	—	—	—
(参考) 前期末実績 (平成 20 年 12 月期)	35,492	941	△1,535	△10,895

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	20,500	△2,900	△3,900	△3,850
今回修正 (B)	18,561	△5,787	△6,807	△8,777
増減額 (B - A)	△1,939	△2,887	△2,907	△4,927
増減率 (%)	△9.5	—	—	—
(参考) 前期末実績 (平成 20 年 12 月期)	33,791	225	△1,324	△11,972

(3) 平成 21 年 12 月期業績予想との差異が生じた理由

①連結

当初計画していなかった物件の売却により、売上高は増加したものの、上記 1. および 2. において記載のとおり平成 21 年 12 月期末時点において、たな卸資産および固定資産を直近の市場環境等を勘案し、評価を行った結果、平成 21 年 12 月期第 3 四半期時点から追加で、たな卸資産評価損 2,031 百万円を売上原価に、減損損失 572 百万円を特別損失に計上することになったことに加え、当社が保有する投資有価証券について評価を行った結果、投資有価証券評価損 1,368 百万円を計上することになりました。

これらの理由により、上記のとおり業績予想との差異が生じることとなりました。

②個別

個別業績の修正理由につきましては、連結業績予想の差異が生じた理由と同様であり、平成 21 年 12 月期第 3 四半期時点から追加で、たな卸資産評価損 2,031 百万円を売上原価に、減損損失 572 百万円を特別損失に計上することになったのに加え、当社が保有する投資有価証券について評価を行った結果、投資有価証券評価損 1,368 百万円を計上することになりました。

これらの理由により、上記のとおり業績予想との差異が生じることとなりました。

以上

※上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。